

日本ネットワークアソシエツ Sniffer EMA

CIO必見 ネットワーク管理の悩みから解放！
企業経営の成否はネットワークの安定維持・向上で決まる



日本ネットワークアソシエツ株式会社
Sniffer事業部
プロダクトマーケティング部
部長
田中 雅彦氏

ネットワーク解析ツールとして市場で高い実績を築き上げてきたSnifferが新たな進化を遂げようとしている。それが統合ネットワーク管理ソリューション「Sniffer EMA」である。

IP化とブロードバンド化の進行によって、企業におけるネットワークの位置付けは、ビジネス活動を根幹から支えるものとして、ますますその重要性を増している。

ここで課題となっているのが、ネットワークを取り巻くさまざまなトラブルを回避するとともに、いかに適正かつ効果的なネットワーク運用を実現させるかという点だ。

ネットワークのダウンは、企業のビジネス活動の停止を意味するものであり、時には経営を揺るがすような致命的な損害を引き起こすケースもある。こうしたトラブルを防ぐためには、障害の回避に加え、問題点の早期発見が必要となる。

また、ネットワーク無停止は当然のことながら、ERPやWebベースのイントラネットシステムなど、企業のビジネス活動を左右するアプリケーションのパフォーマンスの維持と向上のためにもネットワークが適正に稼働するよう常に管理する必要がある。ここでは、重要なトラフィックがビジネスに関係ない通信によって圧迫されているなど、パフォーマンスの劣化やネットワークリソースの浪費は避けなければならない。

これらのさまざまな課題を解決するためには、適切な統合運用管理の仕組みとその活用が不可欠となる。

こうした企業ネットワークを取り巻く課題に対応し、日本ネットワークアソシエツが新たに打ち出したソリューションが「Sniffer Enterprise Management Architecture(EMA)」だ。

日本ネットワークアソシエツ・Sniffer事業部プロダクトマーケティング部の田中

雅彦部長は、「企業ネットワークの可用性の維持やパフォーマンスさらにはセキュリティ管理を1つのプラットフォームで実現できる唯一のソリューション、それがSniffer EMAです」と語る。

Webベースの分散アーキテクチャ実現

Sniffer EMAはLAN/WANネットワークの稼働状況を常時リモート監視、評価するための統合型ソリューションだ。

これを活用することで、障害監視から障害管理によるネットワークダウンタイムのゼロ化、障害予兆の監視によるネットワーク問題の早期発見と解決、アプリケーションレスポンスの管理によるサービスレベルの維持と向上、さらに適切なパフォーマンスの実現によるTCOの削減など、さまざまなネットワークに対する課題が解決される。

Sniffer EMAの特長を見ていこう。

中央拠点から全ネットワークを監視可能

分散アーキテクチャを利用した主要なLAN、WANトポロジをサポートしており、フィルタ、トリガーの共有化をはじめネットワークの中央管理化を実現。



WebベースのGUIは、必要な情報まで2クリックで到達できるよう設計されている

Webベースで遠隔地へ容易にアクセス可能：Webブラウザのインターフェース採用で、遠隔地のネットワークにも容易にアクセスできる。また、アクセス権限の認証管理により、分散環境におけるセキュアな管理も実現。

他ネットワーク管理ツールとの連携が可能：HP OpenView、日立JP1/Cm2などのネットワークノード管理ツールと相互補完することで、より効果的なネットワーク管理を実現。

リアルタイム&ヒストリカルなエキスパート分析：450以上のデコード、250のエキスパート解析、短期/長期レポートによる障害予兆の把握、万一の障害発生時には早期解決のための多角的な現状分析が可能。

SLAを維持しながらTCOを最小化：過去の稼働データを基にした帯域容量のプロアクティブ評価を行うことにより、リソースの配布、ベースラインの設定など、より的確なキャパシティプランニングによるSLA、QoSを実現。

これらのソリューションを具体化するものが、Sniffer EMAを構成する次のような製品ラインナップである。

1.分散型Snifferソリューション

Sniffer Distributed
業界トップを誇る450種類のデコード数に加え、Snifferが長年培ってきたネットワーク解析のナレッジが凝縮された250種類のエキスパート解析機能を搭載するネットワークアナライザのデファクトスタンダード製品。分散環境のもとで、障害を未然に回避するプロアクティブなネットワークマネジメントと、エキスパート機能により、迅速な問題判別を実現する。

2.Snifferレポートングソリューション

Sniffer Watch
システム情報を中央管理化、複数のSniffer Distributedからネットワークの稼働データを収集し、中・長期レポートを提供。正確なデータを基にしたキャパシティプランニングの実現を強力に支援する。

3.Sniffer統合管理・認証ソリューション

Sniffer Resource Manager
システムの中央管理化を可能にする。

CIOの、確実かつスピーディな判断をサポートします



セキュリティマネジメント アプリケーションマネジメント ネットワークマネジメントの3つの領域にわたり、必要とするレポートに即座にアクセスすることができる

Sniffer Distributedの設定、アクセス権限(認証)、フィルタトリガーの共有化、ユーザー情報などのすべてを一括管理する。

さらに日本ネットワークアソシエツでは、Sniffer EMAの拡充を図るため新たな製品の提供を計画している。

それが10月8日に米国で発表された「Network Performance Orchestrator(nPO)」ソリューションだ。

nPOは、企業ネットワークのパフォーマンスやセキュリティの中央集中管理、ビジュアライゼーションが強化されたnPOシリーズの追加によって、企業ネットワークの効率的な監視、運用が実現されそうだ。さらにネットワーク不正侵入検知、セキ

ュリティ検査ソリューションの大手ベンダーISS(Internet Security Systems)社との提携も進められており、セキュリティも包含した管理ソリューションの提供も計画されている。

「Sniffer EMAは付加価値創造を実現できるネットワーク管理ソリューションです。ネットワークが経営の根幹を支える企業を支援できるよう、充実した製品群の提供をさらに進めていきたい」と田中部長は意欲を見せている。

お問い合わせ先

日本ネットワークアソシエツ株式会社
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-12-1
渋谷マークシティウエスト20階
TEL : 03-5428-1867
Email : nac-sniadvoff@nakk.co.jp
URL : http://www.nai.com/japan/sniffer/

日本ネットワークアソシエツ NA World Tokyo 2002
12月11日(水)開催決定
《詳細・お申し込みは》
http://www.nai.com/japan/naworld.aspにて!